

Case Report

Vagi- バッグを用いた 腹腔鏡下子宮筋腫核出術における 経腔的回収法

竹内紗織 先生
三重大学医学部 産科婦人科学教室

安藤正明 先生
倉敷成人病センター 院長



Vagi-バッグ (製造販売届出番号 20B1X00005000047)



Vagi-パイプ (製造販売届出番号 20B1X00005000001)

【はじめに】

腹腔鏡下子宮筋腫核出術（Laparoscopic Myomectomy：以下 LM）は、開腹手術と同様に、筋層の切開、筋腫の核出、筋層の縫合の手順で行うが、その後に核出された筋腫の体腔外への搬出（回収）という作業が加わる。

筋腫を体腔外へ搬出する経路には、経トロカール孔回収（モルセレーター使用）、経腹的回収（腹壁切開による）、経腔的回収（後腔円蓋切開による）の3つの経路がある。いずれの経路であっても、筋腫が回収経路より大きい場合には筋腫の細切が必要となる。しかしながら、術前に診断し得ぬ悪性腫瘍の可能性や、組織を飛散させ parasitic myomas を発生させる可能性を考えると、回収時の筋腫細切には十分な注意が必要であり、回収袋を用いた回収は有用である。

当院では、通常の LM 症例では経腔的回収を行っている。今回、Vagi- バッグを用いた経腔的筋腫回収法をお示しする。

【Vagi- バッグ】

腹腔鏡下手術における組織回収用の袋である。底部が細くなっており、体外に取り出しやすい形状である。開口部閉鎖用の糸はストッパー付きのため、体腔外への搬出時には口を閉め標本の飛散を防ぐことが可能である。

【経腔的筋腫回収法の実際】

（準備）Vagi- バッグは腹腔内で開きやすいように少し水に濡らし、軽く畳んで Vagi- パイプに入れておく。

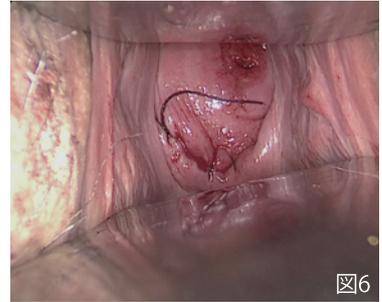
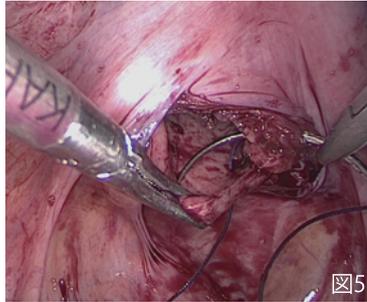
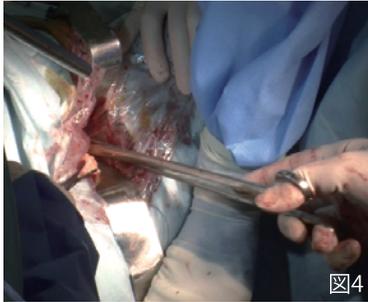
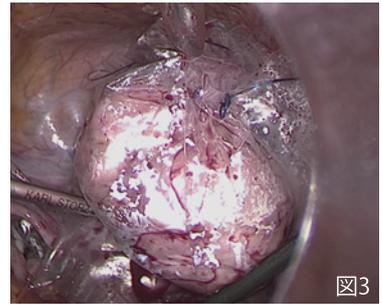
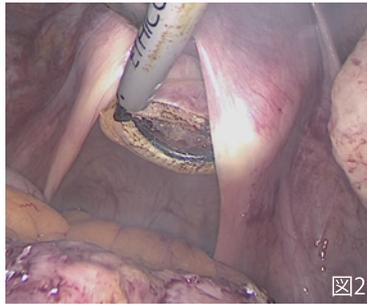
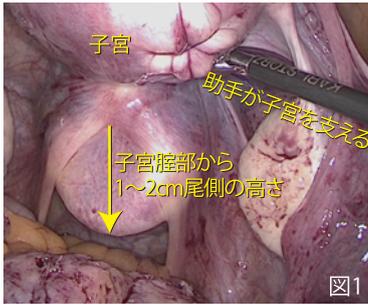
Vagi- パイプには3種類のサイズがあり、患者の腔サイズに合わせて選択が可能である。

1. 子宮筋層縫合後、子宮マニピュレーターを抜去し、Vagi- バッグを入れた Vagi- パイプを腔に挿入する。助手が子宮の後頸部を持ち上げて視野を確保する。（図 1）
2. Vagi- パイプの先端を後腔円蓋にしっかりと押し当て、Vagi- パイプのエッジにそって、両側の仙骨子宮靭帯腔壁を電気メスで切開する。切開のレベルは子宮腔部から 1～2cm 尾側とする。（図 2）
3. 腔切開の後に Vagi- パイプから Vagi- バッグを腹腔内へ引き出す。
4. 摘出筋腫を Vagi- バッグに入れる。筋腫の回収漏れがないように逐一数えておくか、または核出時に糸針でつないでおくもよい。（図 3）
5. Vagi- バッグの糸を牽引し、口を閉める。その糸をそのまま Vagi- パイプへ押し当てることで Vagi- バッグの口は腔後壁の切開部へと向く。
6. 経腔的に筋腫を回収する。Vagi- バッグの口の全周を腔から丁寧に出しておく。Vagi- バッグの中で2枚の鉤を用いて回収口を開く。腹側の鉤は子宮腔部を持ち上げて回収口を確保し、背側の鉤は直腸を圧排して損傷を予防する。双鉤鉗子で筋腫を牽引しながら細切する。剪刀を2枚の鉤の間のみで動かすことで他臓器の損傷を予防する。（図 4）
7. 筋腫回収後、Vagi- パイプを腔に挿入し、腹腔内操作に戻る。
8. 腹腔鏡下に後腔壁を連続縫合にて閉鎖する。合成吸収糸で切開部右断端を縫合後、粘膜面を左端まで連続縫合し、その後漿膜面を右端まで連続縫合で戻す。（図 5）
9. 手術終了時に腔から腔壁縫合部を確認する。（図 6）

【まとめ】

Vagi- バッグは扇形の形状のため、開口部を大きく展開でき、筋腫をバッグ内に搬入しやすい。また、サイズが 200mm タイプ、250mm タイプと 2 タイプあり（図 7）、症例によって使い分けが可能である。特に 250mm タイプは図 8 で示すように十分な容量があるため、多発子宮筋腫症例での回収も容易である。

Vagi- バッグは LM において非常に有用と考える。



心のかよう医療器ハッコー
株式会社 八光

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目42-6 南江堂ビル ☎(03)5804-8500

ホームページ <http://www.hakko-medical.co.jp/>

札幌 ☎(011)611-8520

横浜 ☎(045)954-2111

名古屋 ☎(052)914-8500

福岡 ☎(092)411-4100

仙台 ☎(022)257-8502

長野 ☎(026)276-3083

大阪 ☎(06)6453-9102

熊本 ☎(096)379-5806

柏 ☎(04)7131-8580

金沢 ☎(076)225-8560

岡山 ☎(086)243-3985

本郷商品管理センター

本郷 ☎(03)5804-8500

静岡 ☎(054)282-4185

松山 ☎(089)935-8517

☎(03)5840-8502

〒389-0806 長野県千曲市大字磯部1490番地 (本社工場)